## 地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	大阪府河内長野市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	河内長野市文化遺産活力	用事業	【計画の改善時期】 平成 30年度
4 実施計画期間	平成 23 年度	~ <b>平成</b> 33	年度

#### 5 実施計画の概要

河内長野市には8件の国宝と76件の重要文化財をはじめとする歴史文化遺産があり、これらは、公的施設や寺院だけでなく、地域住民の手で保存・継承されている点が本市の特色となっている。地域の歴史文化遺産の保存・継承を担う人々は、地域に伝わる祭礼によって絆を深め、また、歴史文化遺産を活用した地域活性化の担い手としても期待される存在である。そこで、当該事業により、祭礼が継承されることを支援することをもって、有形・無形の様々な歴史文化遺産の継承・活用の担い手となる人とひとのつながりを強くし、今後の保存・活用に備える。

また、これまで本市が独自に行ってきた調査で蓄積された歴史文化遺産に関する情報を積極的に発信し、また、多言語で発信するすることによって、多文化共生社会の構築をめざし、交流人口の拡大を図り、地域の活性化を行う。

#### 6 実施体制

河内長野市が、本実施計画に係る全体の企画・調整や補助事業に関する指導等を行う。

主な担当課、役割分担は下記のとおり。

河内長野市教育委員会文化財保護課:文化財の取り扱いに関する指導等

河内長野市産業観光課:観光業務に関する連携

補助事業は次の団体が実施

河内長野市文化遺産活用事業実行委員会(会長 堀智真)

<構成団体:文化財所有者(宗教法人 天野山金剛寺、宗教法人 観心寺、宗教法人 延命寺、宗教法 人 河合寺)、祭礼用具所有団体>

本実施計画期間終了後は、文化財保護課が業務を引き継ぎ、これまでの成果を有効に活用する。

#### 7 実施計画における目標と期待される効果

別紙①のとおり

8 補助事業の概要 (1) 補助金額 ~平成30年度交付決定額: 75,451 千円 平成31年度申請額: 2,849 千円 (2) 実施事業の概要 別紙②のとおり

# 9 その他計画実施により想定される効果 (定性的な効果を記載)

- ①地域で継承されてきた様々な歴史文化遺産を確実に継承する上で不可欠な人とひとのつながりを堅固 なものとすることができる。
- ②歴史文化遺産の活用の主体となる地域コミュニティーを強固なものとし、地域住民の自立的、継続的な歴史文化遺産を活用した地域振興や観光・産業振興に備えることができる。
- ③これまでの調査によって蓄積された歴史文化遺産に関する情報を外部へ適切に発信することができるようになり、交流人口の拡大を達成することができる。

## 10 その他事業(自主財源、民間団体、他省庁等からの補助(支援)を予定している事業など)

事業概要:	文化財特別公開事業「ぐるっとまちじゅう博物館2019」:中世から近世への過渡期に築かれた烏帽子形城跡を中心に、周辺地域に伝わる歴史文化遺産を現地で特別に公開し、地元住民にその重要性を再認識してもらうと共に、市内外からの観光客を誘致し、当該地区の地域活性化の一助とする。
	指定文化財修理事業:文化財の修理を行い、次世代に良好な状態で継承する。併せて、 修理現場の公開などの普及啓発事業を実施する。
事業概要:	文化財保存活用地域計画等を活用した観光拠点づくり事業補助金を使って、歴史文化遺産の便益施設等の整備を行う。

# 11「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

平成27年度に「河内長野市歴史文化基本構想」を策定し、これに基づき「河内長野市文化財保存活用地域計画」を策定中である。

「歴史的風致維持向上計画」の策定は未定である。

### 12 担当部局

地方公共団体 担当部局課 河内長野市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課

# 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

			/ 天旭計画に	おける日標と期待	される効果 別紙		
目標区分1:	地域の文化資源を済	舌用した集客・交流					
評価指標区分1:	地域の文化遺産関係	系資料館、博物館等	の年間入館者数	(具体的な指	標は次のとおり)		
具体的な指標 1:	ふるさと歴史学習	習館の年間入館者数	<b></b>	関連事業: ①	23456		
目標値 1:	【現状値】 平成 2	28 年度 7,058	人 ⇒ 【目標	値  平成 33 年	度 9,009 人		
	過去5年間の年間入 率1.05倍に設定	館者数の最大値と最	<b>貴小値を除いた3年</b> 2	分の増減率1.05倍を	参考として、伸び		
	十1.00旧亿欧儿		状況値、目標に対す	 する達成率			
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
6,633 人	5,911 人	人	人	人	人		
-22%	-59%						
目標区分2:	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化						
評価指標区分2:	地域に誇りを感じる	る住民の割合		(具体的な指	標は次のとおり)		
具体的な指標2:	市民意識調査での	の地域の歴史的環境	竟への満足度	関連事業: ①~⑱	_		
目標値2:	【現状値】 平成 2	28 年度 31	% ⇒ 【目標	値】 平成 33 年	连度 50 %		
設定根拠2:	平成22年度調査結果 定	果と平成25年度調査	結果の伸び率約1.1	倍を参考として、伸	『び率を1.1倍に設		
		各年度,	状況値、目標に対す	 する達成率			
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
41 %	39 %	%	%	%	%		
53%	40%						
目標区分3:	地域の文化資源を済	舌用した集客・交流					
評価指標区分3:	地域の文化遺産への	の来場者数		(具体的な指	標は次のとおり)		
具体的な指標3:	檜尾山観心寺・尹	<b>三野山金剛寺への年</b>	F間拝観者数 <b></b>	関連事業: 1236			
目標値3:	【現状値】 平成 2	28 年度 200,000	人 ⇒ 【目標	値】 平成 33 年	度 650,000 人		
設定根拠3:	過去10年間の平均 →9万・・・)と設		<b>拝観者の増加が認め</b>	られるため、伸び率	図を2倍(3万→6万		
	) C IX		状況値、目標に対す	する達成率			
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
190,042 人	人	人	人	人	人		
-2%							
目標区分4:	地域の文化資源を活	舌用した集客・交流					
評価指標区分4:	その他			(具体的な指	標は次のとおり)		
具体的な指標4:	年間外国人観光容	<u></u> 字数		関連事業: ③			
目標値4:	【現状値】 平成 2	28 年度 6,200	人 ⇒ 【目標	値】 平成 33 年	度 9,200 人		
設定根拠4:	過去3年間の平均	で約600人の増加か	ぶ認められること	から、伸び率600人	を設定		
進捗状況4:		各年度,	状況値、目標に対す	する達成率			
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
6,958 人	人	人	人	人	人		
25%							

# 8(2) 実施事業の概要 別紙

歴史文化遺産を活かしたブランドイメージの定着を図り、その魅力を発信していくために、「歴史文化遺産」の付加価値を「可視化」して伝える。歴史体験メニューとなりうる歴史文遺産の基礎調査、ポータルサイト「奥河内遺産」構築、リーフレット作成等を実施した。 評価指標区分: ・ホームページ閲覧数 (PV数) (具体的な指標は次のとおります。 「関係的な指標は次のとおります。」 「現状値」では、ポータルサイト「奥河内遺産」の閲覧数 (具体的な指標は次のとおります。」 「具体的な指標は次のとおります。」 「具体的な指標は次のとおります。」 「具体的な指標は次のとおります。」 「現状値」では、33 年度 の 回 → 【目標値】では、33 年度 10,000 金地状況:	年度 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
歴史文化遺産を活かしたブランドイメージの定着を図り、その魅力を発信していくために、	化 り) 回 <b>年度</b> 回
事業概要: 「歴史文化遺産」の付加価値を「可視化」して伝える。歴史体験メニューとなりうる歴史文遺産の基礎調査、ポータルサイト「奥河内遺産」構築、リーフレット作成等を実施した。         評価指標区分: ・ホームページ閲覧数 (PV数)       (具体的な指標は次のとおります。)         具体的な指標: ポータルサイト「奥河内遺産」の閲覧数         目標値: 【現状値】 平成 28 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 10,000         進捗状況:       各年度, 状況値, 目標に対する達成率         平成 29 年度 平成 30 年度 平成 31 年度 平成 32 年度 平成 33 年度 平成 34 年度 平成 34         8,207 回 8,934 回 回 回 回 回 回       回 回 回 回         82% 89%       実施団体: 河内長野市文化遺産活用事業実行委	り) 回 <b>年度</b> 回
具体的な指標: ポータルサイト「奥河内遺産」の閲覧数  目標値: 【現状値】 平成 28 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 10,000  進捗状況: 各年度、状況値、目標に対する達成率  平成 29 年度 平成 30 年度 平成 31 年度 平成 32 年度 平成 33 年度 平成 34 年度 平成 36 年度 平成 36 年度 平成 36 年度 平成 36 年度 平成 37 年度 平成 37 年度 平成 37 年度 平成 38 年度 18 年度	回 <b>年度</b> 回
目標値: 【現状値】 平成 28 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 10,000   進捗状況:   各年度、状況値、目標に対する達成率   平成 29 年度 平成 30 年度 平成 31 年度 平成 32 年度 平成 33 年度 平成 34 8,207 回 8,934 回 回 回 回 回 回 回   回 回   回   回   回   回	年度
進捗状況:       各年度、状況値、目標に対する達成率         平成 29 年度 平成 30 年度 平成 31 年度 平成 32 年度 平成 33 年度 平成 34         8,207 回 8,934 回 回 回 回 回 日       日 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回	年度
平成       29       年度       平成       30       年度       平成       31       年度       平成       32       年度       平成       33       年度       平成       34         8,207       回       8,934       回       回       回       回       回       回       回       回       回       中       中       中       中       日 <t< td=""><td>口</td></t<>	口
8, 207       回       8, 934       回       回       回       回         82%       89% <b>実施団体</b> : 河内長野市文化遺産活用事業実行委	口
82%       89%         事業②:       文化遺産解説映像制作         実施団体:       河内長野市文化遺産活用事業実行委	
事業②: 文化遺産解説映像制作 実施団体: 河内長野市文化遺産活用事業実行委	3 仝
	크스
<b>事業区分</b> : 情報発信 <b>事業期間</b> : 平成 27 年度 ~ 平成 27	マエ
	年度
「高野街道を歩く〜河内長野市の歴史文化遺産を訪ねて〜」 事業概要: 河内長野市の発展に大きく寄与した高野街道を中心としたエリアに所在する歴史文化遺産 社、石造物、史跡名勝天然記念物、伝統行事など)を解説するDVDを作成した。	(寺
評価指標区分: ・コンテンツダウンロード数(掲載HPや動画共有サイトでの 再生回数等) (具体的な指標は次のとお	IJ)
具体的な指標: 「高野街道を歩く〜河内長野市の歴史文化遺産を訪ねて〜」の動画共有サイトでの 回数	再生
<b>目標値</b> : 【現状値】 平成 28 年度 600 回 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 10,000	□
進捗状況: 各年度、状況値、目標に対する達成率	
平成     29     年度     平成     30     年度     平成     31     年度     平成     32     年度     平成     33     年度     平成     34	年度
1,200 回 2,900 回 回 回 回	口
6% 24%	
事業③: 河内長野市歴史文化遺産情報誌による情報発信及び多言語化 <b>実施団体</b> : 河内長野市文化遺産活用事業実行委	<b></b>
	年度
河内長野市の歴史文化遺産の魅力を多くの人に知ってもらうために、市内の歴史文化遺産を総合的に 事業概要: する冊子『河内長野ヒストリップ』を作成し、次年度に英語版を作成し、市内外に配布した。併せて PDF版を市ホームページなどからダウンロードできるようにして活用を図った。	
┃ ニァイサートメーテースン ┃・コンテンツダウンロード数(掲載HPや動画共有サイトでの ┃ / B / + 4 ヘ サヒーテャントンタ。 レ ナン	115
評価指標区分: 再生回数等) (具体的な指標は次のとお	9)
	9)
評価指標区分:   再生回数等)   (具体的な指標は次のとお	<b>9</b> ) 回
再生回数等)   再生回数等)	
評価指標区分:   再生回数等)	
評価指標区分:   再生回数等)	□

事業④: 市内	自治会収蔵資料調査	実施団体:	: 河内長野市文化遺産活	用事業実行委員会
事業区分:	調査研究	事業期間:	: 平成 23 年度 ~	平成 29 年度
事業概要:	市内の各自治会が所有・保管する しての価値が高いものが多数眠っ が所有する文化財目録を作成した	ていることから、こ		
評価指標区分:	(リストから選択してください。	)	(具体的な指	f標は次のとおり)
具体的な指標:			·	
目標値:	【現状値】 平成 年度	(単位) ⇒	【目標値】 平成 33 年	度 (単位)
進捗状況:	各年	き度,状況値,目標に	二対する達成率	
平成 29 年度	平成 30 年度 平成 31 :	年度 平成 32 4	年度 平成 33 年度	平成 34 年度
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)
事業⑤: 地域		実施団体	: 河内長野市文化遺産活	用事業実行委員会
事業区分:	調査研究	事業期間:	: 平成 26 年度 ~	平成 27 年度
事業概要:	地域の歴史の特徴を示し、かつ、 石造物の悉皆調査を行った。調査 る。			
評価指標区分:	(リストから選択してください。	)	(具体的な指	[標は次のとおり]
具体的な指標:			•	
目標値:	【現状値】 平成 年度	(単位) ⇒	【目標値】 平成 33 年	度 (単位)
進捗状況:	各年	度、状況値、目標に	三対する達成率	
平成 29 年度	平成 30 年度 平成 31 :	年度 平成 32 4	年度 平成 33 年度	平成 34 年度
(単位)	(単位)	(単位)	(単位) (単位)	(単位)
<b>市娄⑥</b> .	上	字炼团体	河内巨阪古文小海交迁	田東光字行禾昌入
	寺等映像記録制作 	実施団体		
事業区分: ———	□ 正政TF成   平成21年度から平成29年度にかけ	事業期間 まて実施した金剛寺会		
事業概要:	影し、平成の大修理の記録とする 技術や金剛寺を含めた市内の歴史	。併せて、記録映像	象を編集し、文化財建造物	<b>勿の伝統的な修理</b>
評価指標区分:	・記録映像の貸し出し(又は利用	])回数等	(具体的な指	[標は次のとおり]
具体的な指標:	市立図書館でのDVD(平成3	0年度完成)の年間	· 引貸出数	
目標値:	【現状値】 平成 28 年度 (	0 □ ⇒	【目標値】 平成 33 年	度 1,000 回
進捗状況:	各年	度,状況値,目標に	対する達成率	
平成 29 年度	平成 30 年度 平成 31 :	年度 平成 32 4	年度 平成 33 年度	平成 34 年度
0 回	0 🗉	口	回 回	口
0%	0%			

事業⑦: 高向	中町会地車保存継	承	実施団体:	高向中町会	
事業区分:	用具等整備		事業期間:	平成 25 年度 ~	平成 25 年度
事業概要:		を行った。併せて、一		び著しいことから、 修理現場見学会やお打	
評価指標区分:	・祭礼行事への参	加住民数		(具体的な打	旨標は次のとおり)
具体的な指標:	地車曳行に参加す	る住民数		•	
目標値:	【現状値】 平成	28 年度 150	人 ⇒ 【目	標値】 平成 33 年	度 160 人
進捗状況:		各年度,均	犬況値, 目標に対	する達成率	
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年月	度 平成 33 年度	平成 34 年度
150 人	150 人	人	人	. 人	人
0%	Ο%				
事業⑧: 向野	町地車保存継承		実施団体:	句野町地車修理委員	会
事業区分:	用具等整備		事業期間:	平成 26 年度 ~	平成 26 年度
事業概要:				体の締め直しや破損( 理乗車体験会等の普)	
評価指標区分:	・祭礼行事への参	加住民数		(具体的な打	指標は次のとおり)
具体的な指標:	地車曳行に参加る	する住民数		•	
目標値:	【現状値】 平成	28 年度 120	人 ⇒ 【目	標値】 平成 33 年	度 150 人
進捗状況:		各年度, 料	犬況値, 目標に対	する達成率	
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年月	度 平成 33 年度	平成 34 年度
120 人	125 人	人	人	. 人	人
0%	17%				
事業9: 下西	代地車保存継承		実施団体:	下西代連合町会及び	地車保存会
事業区分:	用具等整備		事業期間:	平成 26 年度 ~	平成 26 年度
事業概要:				広が著しいことから、▽ ・修理見学会や太鼓教覧	
評価指標区分:	・祭礼行事への参	加住民数		(具体的な打	指標は次のとおり)
	地車曳行に参加っ	する住民数			
目標値:	【現状値】 平成	28 年度 150	人 ⇒ 【目	標値】 平成 33 年	度 200 人
進捗状況:		各年度,均	犬況値, 目標に対	する達成率	
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年月	度 平成 33 年度	平成 34 年度
180 人	180 人	人	人	人	人
60%	60%				

		\			
事業⑪:  三日	市北部山車(地車	)保存継承	実施団体:	北部秋の禮大祭保存	字継承実行委員会
事業区分:	用具等整備		事業期間:	平成 27 年度 ~	<b>~ 平成 27 年度</b>
事業概要:				本体の締め直しや破損 修理記録DVD作成等	
評価指標区分:	・祭礼行事への参	加住民数		(具体的な	指標は次のとおり)
具体的な指標:	地車曳行に参加す	する住民数		<u>.</u>	
目標値:	【現状値】 平成	28 年度 100	人 ⇒ [[	目標値】 平成 33 4	年度 120 人
進捗状況:		各年度,北	犬況値, 目標にな	対する達成率	
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年	度 平成 33 年度	<b>平成</b> 34 <b>年度</b>
100 人	105 人	人	)	人	人
0%	25%				
事業⑪: 西代	区神輿保存継承		実施団体:	西代区自治会及び第	祭礼実行委員会
事業区分:	用具等整備		事業期間:	平成 28 年度 ~	~ 平成 29 年度
事業概要:				り金具等が経年劣化し 関連講演会を実施した	
評価指標区分:	・祭礼行事への参	加住民数		(具体的な	:指標は次のとおり)
 具体的な指標:	神輿渡御への参加	叩者数		<u>'</u>	
目標値:	【現状値】 平成	28 年度 200	人 ⇒ [[	1標値】 平成 33 4	年度 210 人
進捗状況:		各年度,北	犬況値, 目標に対	対する達成率	
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年	度 平成 33 年度	<b>平成</b> 34 <b>年度</b>
200 人	205 人	人	)	<b>人</b>	人
0%	50%				
事業⑫: 喜多	町地車保存継承		実施団体:	喜多町会及びだん	じり祭実行委員会
事業区分:					
	用具等整備		事業期間:	平成 28 年度 ~	~ 平成 29 年度
事業概要:	長年の曳行による			平成 28 <b>年度 ^</b> 所の修理を行った。 伊 内容を紹介する記念 III	并せて、修復作業現 でで、修復作業現
	長年の曳行による。地見学会、搬入後	のお披露目曳行・お扱		 所の修理を行った。伊               	并せて、修復作業現 でで、修復作業現
事業概要:	長年の曳行による。地見学会、搬入後	のお披露目曳行・お抜加住民数		 所の修理を行った。伊               	fせて、修復作業現 }子等を作成した。
事業概要:	長年の曳行による。 地見学会、搬入後 ・祭礼行事への参加 地車曳行に参加っ	のお披露目曳行・お抜加住民数	: から、破損個所 対露目会、修理に	所の修理を行った。伊 内容を紹介する記念冊 ( <b>具体的な</b>	fせて、修復作業現 }子等を作成した。
事業概要: 評価指標区分: 具体的な指標:	長年の曳行による。地見学会、搬入後・祭礼行事への参加事曳行に参加する	のお披露目曳行・お加加住民数	: から、破損個所 対露目会、修理に	所の修理を行った。伊 内容を紹介する記念冊 ( <b>具体的な</b>	fせて、修復作業現 子等を作成した。 指標は次のとおり)
事業概要: 評価指標区分: 具体的な指標: 目標値:	長年の曳行による。 地見学会、搬入後 ・祭礼行事への参 地車曳行に参加っ 【現状値】 平成	のお披露目曳行・お抜加住民数 計る住民数 28 年度 100	: から、破損個所 対露目会、修理に	所の修理を行った。伊 内容を紹介する記念冊 ( <b>具体的な</b> 目標値】 平成 33 4	fせて、修復作業現 }子等を作成した。 指標は次のとおり) 年度 150 人
事業概要: 評価指標区分: 具体的な指標: 目標値: 進捗状況:	長年の曳行による。 地見学会、搬入後 ・祭礼行事への参 地車曳行に参加っ 【現状値】 平成	のお披露目曳行・お抜加住民数 計る住民数 28 年度 100	とから、破損個所 対露目会、修理F 人 ⇒ 【E 平成 32 年	所の修理を行った。伊 内容を紹介する記念冊 ( <b>具体的な</b> 目標値】 平成 33 4	fせて、修復作業現 }子等を作成した。 指標は次のとおり) 年度 150 人

事業⑬: 高向	上町地車保存継承		実施団体:	高向上町	会		
事業区分:	用具等整備		事業期間:	平成 28	年度 ~	平成 28	年度
事業概要:	秋祭で曳行される地車の経年劣化が 行った。併せて、一般を対象とした した。						
評価指標区分:	・祭礼行事への参加住民数				(具体的な指	旨標は次のとる	おり)
具体的な指標:	地車曳行に参加する住民数						
目標値:	【現状値】 平成 28 年度 100	1	人 ⇒ [[	目標値】 平原	<b>丈</b> 33 年	度 120	人
進捗状況:	各年度	. 状	況値, 目標に対	対する達成	率		
平成 29 年度	平成 30 年度 平成 31 年	度平	平成 32 年	度平成	33 年度	平成 34	年度
100 人	105 人	\	J	\	人		人
0%	25%						
事業値: 高向	下町地車保存継承 		実施団体:	高向下町	会		
事業区分:	用具等整備		事業期間:	平成 29	年度 ~	平成 29	年度
事業概要:	秋祭りに曳行する地車のコマが経年 ていることからコマを修理した。音	劣化 F及啓	で傷んでおり、 発事業として、	, 安全に曳 , 修理報告	行することだ 会等を実施し	が難しくなっ <sup>*</sup> した。	てき
評価指標区分:	・祭礼行事への参加住民数				(具体的な指	旨標は次のとる	おり)
具体的な指標:	地車曳行に参加する住民数						
目標値:	【現状値】 平成 28 年度 150		人 ⇒ [[	目標値】 平月	<b>丈</b> 33 年	度 160	人
進捗状況:	各年度	[, 状]	況値、目標に対	対する達成	<u>率</u>		
平成 29 年度	平成 30 年度 平成 31 年	度平	平成 32 年	度平成	33 年度	平成 34	年度
150 人	150 人	\	)	Λ	人		人
0%	0%						
事業19: 古野:	也車保存継承 		実施団体:	古野地車位	保存会		
事業区分:	用具等整備		事業期間:	平成 30			年度
事業概要:	秋祭で曳行される地車・太鼓などの 破損個所の補修等を行った。併せて 及啓発事業を実施した。						
評価指標区分:	・祭礼行事への参加住民数				(具体的な指	指標は次のと る	おり)
具体的な指標:	地車曳行に参加する住民数			<u> </u>			
目標値:	【現状値】 平成 28 年度 100		人 ⇒ [[	目標値】 平月	<b>丈</b> 33 年	度 120	人
進捗状況:	各年度	[, 状]	況値、目標に対	対する達成	率		
平成 29 年度	平成 30 年度 平成 31 年	度 平	平成 32 年	度平成	33 年度	平成 34	年度
100 人	110 人	\	)	\	人		人
0%	50%						

事業16: 原地[	区地車保存継承		実施団体:	原地車保	存会		
事業区分:	用具等整備		事業期間:	平成 30	年度 ~	平成 30	年度
事業概要:	て、経年劣化によ	り、安全な曳行が危り の破損した地車に飾 修理内容を紹介した	るのぼり旗・吊っ	下げ旗など	で修理を行っ	理を行った。 った。修理後	併せ、お
評価指標区分:	・祭礼行事への参加	加住民数			(具体的な排	指標は次のと	おり)
具体的な指標:	地車曳行に参加す	<b>十る住民数</b>		<u>l</u>			
目標値:	【現状値】 平成 2	28 年度 150	人 ⇒ [[	目標値】 平	成 33 年	度 180	人
進捗状況:		各年度,沒	状況値, 目標に	対する達成	率		
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年	度 平成	33 年度	平成 34	年度
150 人	155 人	人	,	\	人		人
0%	17%						
<b>事業</b> ⑪: 伝統	文化体験(装道和	装礼法)	実施団体:	河内長野市	加賀田地区装道	道和装礼法こど	も教室
事業区分:	その他		事業期間:	平成 24	4 年度 ~	平成 25	年度
事業概要:		護者を対象に、日本					と通
評価指標区分:	・その他				(具体的な排	旨標は次のと	おり)
具体的な指標:	各年度の参加者数	 女					
目標値:	【現状値】 平成 2	28 年度 60	人 ⇒ [[	目標値】 平	成 33 年	度 70	人
進捗状況:		各年度,	状況値, 目標に	 対する達成	·····································		
平成 29 年度							
一队 29 平反	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年	度 平成	33 年度	平成 34	年度
70 人	平成     30     年度       70     人	平成     31     年度       人		<b>度 平成</b>	33 年度	平成 34	年度
						平成 34	
70 人	70 人			Λ			人
70 人 100% 事業®: 伝統	70 人			Λ	市加賀田地	区茶華道教	人
70 人 100% 事業®: 伝統	70 人 100% 文化体験(茶道) その他 日本の伝統文化で		<b>実施団体</b> : 事業期間: つきっかけとし、	八 河内長野 平成 24	大 市加賀田地 4 <b>年度 ~</b>	区茶華道教 平成 25	室
70 人 100% 事業18: 伝統 事業区分:	70 人 100% 文化体験(茶道) その他 日本の伝統文化で	ある茶道に関心を持	<b>実施団体</b> : 事業期間: つきっかけとし、	八 河内長野 平成 24	人 市加賀田地 4 <b>年度 ~</b> この重要性がF	区茶華道教 平成 25	全年度よう
70 人 100% 事業®: 伝統 事業区分: 事業概要:	70 人 100% 文化体験(茶道) その他 日本の伝統文化でる に、地域の人々を対	人 ある茶道に関心を持め 対象に体験教室を実	<b>実施団体</b> : 事業期間: つきっかけとし、	八 河内長野 平成 24	人 市加賀田地 4 <b>年度 ~</b> この重要性がF	区茶華道教 <b>平成</b> 25 事認識される	全年度よう
70 人 100% 事業®: 伝統 事業区分: 事業概要: 評価指標区分:	70 人 100% 文化体験(茶道) その他 日本の伝統文化でるに、地域の人々を対 ・その他 各年度の参加者数	人 ある茶道に関心を持め 対象に体験教室を実	<b>実施団体</b> : <b>事業期間</b> : つきっかけとし、施した。	八 河内長野 平成 24	大 市加賀田地 4 年度 ~ の重要性が平 (具体的な抗	区茶華道教 <b>平成</b> 25 事認識される	全年度よう
70 人 100% 事業®: 伝統 事業区分: 事業概要: 評価指標区分: 具体的な指標:	70 人 100% 文化体験(茶道) その他 日本の伝統文化でるに、地域の人々を対 ・その他 各年度の参加者数	人 ある茶道に関心を持 対象に体験教室を実	実施団体: 事業期間: つきっかけとし、 施した。	河内長野 平成 24 、伝統文化	大 市加賀田地 4 年度 ~ この重要性が平 (具体的な打 成 33 年	区茶華道教 平成 25 再認識される <b>1標は次のと</b>	人 室 年度 よう おり)
70 人 100% 事業®: 伝統 事業区分: 事業概要: 評価指標区分: 具体的な指標: 目標値:	70 人 100% 文化体験(茶道) その他 日本の伝統文化でなに、地域の人々を対 ・その他 各年度の参加者数 【現状値】 平成 2	人 ある茶道に関心を持 対象に体験教室を実 数 28 年度 16 各年度,;	実施団体: 事業期間: つきっかけとし、 施した。 人 ⇒ 【E	河内長野 平成 2- 、伝統文化	大 市加賀田地 4 年度 ~ この重要性が平 (具体的な打 成 33 年	区茶華道教 平成 25 再認識される <b>1標は次のと</b>	人 室 年度 よう おり)
70 人 100% 事業®: 伝統 事業区分: 事業概要: 評価指標区分: 具体的な指標: 目標値: 進捗状況:	70 人 100% 文化体験(茶道) その他 日本の伝統文化でなに、地域の人々を対 ・その他 各年度の参加者数 【現状値】 平成 2	人 ある茶道に関心を持 対象に体験教室を実 数 28 年度 16 各年度,;	実施団体: 事業期間: つきっかけとし、 施した。	八 河内長野 平成 24 、伝統文化 目標値】 平 対する達成	大 市加賀田地 4 年度 ~ この重要性が平 (具体的な打 成 33 年	区茶華道教 平成 25 再認識される <b>1標は次のと</b> 度 20	大       室       年度       よう       おり)       人